

令和2年度 事業報告

I. 令和2年度の当協会の活動は、以下の通りである。

(期日) (講演者、演題、(参加人数))

東京

1 講演会

- 5月16日 デュッペル=タカヤマ: 将来についてのワークショップ (5)
- 6月17日 三島/ニコライゼン/サーラ/フィーツェ: パネルディスカッション 中国とアメリカの間にある日本の緊張感 (50)
- 6月20日 デュッペル=タカヤマ: 将来についてのワークショップ (7)
- 9月12日 アッシュ: 映画「Boys for Sale」上映、討論会 (52)
- 9月23日 フリッツ: 2冊の本の表紙の間で日本をどうやって売るか? 文化的リーダーのビジネスへの洞察 (24)
- 10月7日 ヴェンツ: 日本近代の緊張感の中の浄土真宗について (19)
- 10月14日 シュトゥーダー: 第一次世界大戦前の日本におけるスイス人とドイツ人の共生の例として、スイスの外交官パウル・リヒター (14)
- 10月21日 シュバイデル/シュロットハウアー/ヴォイテ: 日本における映画製作について (32)
- 10月28日 ウルシュタイン/ホーエンダナー: デジタルパブリックスの未来への展望。京都デザインラボでの研究プロジェクトについて (20)
- 11月4日 ホップ: 明治から令和にかけての相撲の変遷 (18)
- 11月11日 シュタルク: 明治時代と2020年における無観客落語 (27)
- 11月18日 サーラ: 国家の英雄。近代日本の公共の場所における銅像 (35)
- 11月21日 デーリエ: 映画「Hanami」、「Dämonen」上映、討論会 (65)
- 11月25日 コジチ: 修験道と滝の国、山陰地方の聖地と希少な植物について (46)
- 12月2日 林/中野/澤/エアトマン/クリンガー/サーラ/ノイマイヤー: パネルディスカッション 報道の自由、ポピュリズムと民主主義の強靭性 (50)
- 12月9日 シュバイデル/ザウター: 日本 — コスプレした現実。ある本作りの話 (35)
- 12月16日 シュトラウス: 赤い正典。小説「紅楼夢」を例に初期の中華人民共和国は自国の文化財をどのように扱っていたのか (22)
- 1月20日 メンクハウス: オイレンブルク使節団の足跡をたどって (76)
- 1月27日 シェルマン: 映画「寅さん」の舞台裏 (43)
- 2月3日 ヴァルデンベルガー/萩原: 通訳という職業の変化 (78)
- 2月10日 ビオンティーン: 宇都宮徳馬と二つの朝鮮 (30)
- 2月17日 ヘルトランプ: 75年の分断 — 朝鮮半島の状況 (31)
- 2月24日 牧野: イヨマンテ — アイヌの熊祭りについて (49)
- 3月3日 デュッペル=タカヤマ/グレーフェ: 日本語からの翻訳の難しさについて (48)
- 3月10日 アルト: 戦争と平和 罪悪感と潔白感。日本のアニメにおける空爆 (24)
- 3月17日 ホイスラー: 未踏の道。1960年代の東京の都市化プロセスと未来のヴィジョン (36)
- 3月24日 ベルクマン: 日本の舞台の画家について (55)
- 3月31日 今井: 近隣の東京。革新と分極化の場としての創造的な都市環境 (31)

2 シーボルトセミナー

- 9月7日 大澤真澄: ライデンのシーボルトコレクションにある鉱物、石、医薬品、考古学的発見物 (15)
- 10月5日 大胡真人: ヴュルツブルク大学医学部の改革者カール・カスパー・フォン・シーボルトについて (22)
- 11月2日 桜葉美希: ミュンヘンの五大陸博物館のシーボルトコレクションの陶器 (20)
- 12月14日 藤野一樹: 日本のテレビにおけるシーボルト像 (19)

4 展示会

- 10月19日—25日 シュロットハウアー/ヴォイテ展「PLUS ALPHA」
- 11月16日—22日 くわなよしゆき展「KAN ARU CAN ARU」

5 その他

- 9月30日 年次総会 (75)
- 10月31日 ロエダ: 武相荘見学 (8)
- 11月7日 シュバング: 物見山、高指山、日和田山ハイキング (15)
- 3月20日 岩村/ロエダ: 北鎌倉七福神巡り (8)
- 3月22日 臨時総会 (85)

コロナ禍のため回数は減ったが、引き続き日本語、生け花、書道のクラスを開いた。なお、毎月会員に配布している会報に日本および東洋に関する小文、日本に関する書籍の翻訳また書評を載せた。当協会の図書室は現在約5000冊の図書を所蔵しているが、前年度に引き続き、在庫を整理した上、日本および東洋に関するドイツ語、英語の書籍をより一層充実させた。

II. 当年度の出版物は以下の通りである。

- 1 OAG 月報 OAG-NOTIZEN 1号〜10号
- 2 芥川龍之介: 魔術。物語、紀行文、脚本、戯曲 (ドイツ語訳: A.シュタイン)
Magie. Erzählungen, Reiseberichte, Drehbücher und Stücke.
Aus dem Japanischen übertragen und mit einem Vorwort und Anmerkungen versehen von Armin Stein.
ユージェイテウム社、ミュンヘン

III. 収益事業

- 1 ドイツ文化会館4階事務室を、引き続きドイツ観光局、ドイツ学術交流会、ドイツ研究振興協会、フリードリヒ・エーバルト財団、廣川明と建築工房、コンラート・アデナウアー財団、ドイツテレビ、(株)アイコレクト・ジャパン(2020年9月まで)に貸した。また1階を(株)ラートジャパンに貸した。地下倉庫をドイツ学術交流会に貸した。
- 2 屋外駐車場を(株)パートナーに引き続き貸した。
- 3 ホールを、ピアノ発表会等に貸した。

附属明細書

令和2年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。